

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 2 月 22日

事業所名 子ども支援ルーム 美(ちゅら)ぐる

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4			・指定基準・法令を遵守し、子ども達の安全に配慮していきます。
	2	職員の配置数は適切である	4			・利用児童数の増加や長期休業に応じて職員数を増やしていく等、都度対応していきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4		・指導訓練室は、バリアフリーにしています。	・玄関入り口とトイレ入り口に段差がありますが、生活動作範囲となっています。必要に応じて、手すり等の設置も検討していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4		・感染予防対策を徹底しています。 活動によっては、未就学児と就学児のスペースを分けて対応しています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4		・日々、ミーティングを行い、支援内容について話し合いや振り返りをしています。	・事業所内で、報告・連絡・相談を徹底し、ミーティング会議を継続していきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4		・令和5年3月開所初回アンケート	・今年度の評価を参考に、業務改善に努めます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4		・令和5年3月開所初回アンケート	・今年度の評価を参考に、業務改善に努めます。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		4		・現在、第3者による外部評価は行っておりません。今後、検討していきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		・事業所内研修や外部研修に参加し、職員の質の向上に努めています。	・引き続き、職員の育成、教育、職場環境づくりを行い、資質の向上を図ります。職員全員が研修に参加できるよう努めます。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4		・職員全員で話し合う機会を設けています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4			・児童発達支援ガイドラインをもとに利用者の年齢や発達段階、個人の特性に応じた支援内容を設定しています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4		・個別支援計画をもとにプログラムを立案し、支援しています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	4		・毎月の活動プログラムを職員間で話し合い、決定しています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		・季節や文化も取り入れた活動を行っています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	4			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		・ミーティングにて支援内容の共有を行っています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4		・終了後も振り返りや情報共有を行っています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		・日々支援記録をとり、次につなげるようにしています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4			
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			・該当児なし	・現在、医療的ケアを必要とされる児童は在籍しておりません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			・該当児なし	・現在、医療的ケアを必要とされる児童は在籍しておりません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4		・担当者会議に参加し、情報の提供と共有を行い、相互理解を図っています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	1	・相談支援専門員や事業所間で情報交換を行う等しています。	・専門機関との連携を増やしていきます。専門的な助言や研修を受け、支援につなげていけるよう努めます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4		・地域の公園で一緒に遊ぶことはあります。	・在籍している児童は、全員、並行通園となっています。事業所内では、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流機会は設けておりません。地域の子どもたちと交流する機会を持てるよう、活動の工夫をしています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		4		・子ども部会や地域の子育て会議等へ参加できるよう努めます。また、研修受講も検討します。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		・日々の様子をLINE等で写真を添えて伝え、保護者とのコミュニケーションを大事にしています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	1	・個々に合わせて対応しています。相談、助言を行い、家族支援体制を整えています。	・ペアレント・トレーニングは実施していません。今後、自治体や地域団体の介入を含めて検討していきたいです。また、職員の研修受講も検討します。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		・契約時に、書面を通して説明を行っています。また、必要に応じて、適宜対応しています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		4		・保護者も一緒に参加できるイベント等を計画し、保護者同士の交流や活動の機会を設けるよう努めます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4		・いつでも相談しやすいよう、連絡ツールを工夫しています(面談以外でも、電話やLINE、メール対応も可能にしています)。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4		・月1回のお便りやLINE等で情報を発信しています。必要時、PDFにて文書を添付しています。	・毎月、「美(ちゅら)ぐくるだより」と「集団活動予定表」を発行し、配布しています。子どもたちの事業所での様子や連絡事項等をお伝えしています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	4		・個人情報の取り扱いについては、職員間でも意識して取り組んでいます。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		4		・今後、検討していきます。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4			・非常時等の対応については、重要事項説明書において周知徹底していきます。フローチャートを作成し、分かりやすい説明の工夫もしていきます。 ・避難訓練は、火災時・地震発生時・不審者遭遇などを想定し、月に1回実施しています。 今後とも継続していくよう努めます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		・計画に沿って実施しています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4		・既往歴、現病歴、服薬状況については確認を徹底しています。	・予防接種については未確認でした。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	2	・アレルギーの有無については、保護者への聞き取りを行い、職員全員で把握しています。 ・現在、食物アレルギーの児童はいません。	・事業所ではおやつを提供がありません。契約時に食物アレルギーの確認を行い、医師の指示に基づく対応をしていきます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4		・朝のミーティングにて事例の報告、情報共有を行っています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4		・対象児童は在籍していません。 ・虐待防止研修と併せて職員への周知を徹底しています。	・原則、身体拘束は行いません。 ・緊急やむを得ない事情で身体拘束が必要と判断した場合、保護者へ十分な説明と同意を得て個別支援計画に記載します。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。